



平成30年5月23日

各 位

会 社 名 K e e P e r 技 研 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 谷 好 通
(コード番号：6036 東証第一部、名証第一部)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 滝 谷 正 史
経 営 企 画 本 部 長
(TEL 0562-45-5258)

通期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年8月10日に公表した「平成29年6月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」に記載している平成30年6月期の業績予想（平成29年7月1日～平成30年6月30日）および平成30年6月期の配当予想を修正することといたしましたので、下記お知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,784	百万円 1,100	百万円 1,102	百万円 703	円 銭 49.94
今回修正予想 (B)	7,360	877	894	566	40.22
増減額 (B-A)	△424	△223	△208	△137	
増減率 (%)	△5.4	△20.3	△18.9	△19.5	
(ご参考) 前期実績 (平成29年6月期)	6,999	1,015	1,017	649	45.67

(注) 当社は、平成29年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

修正の理由

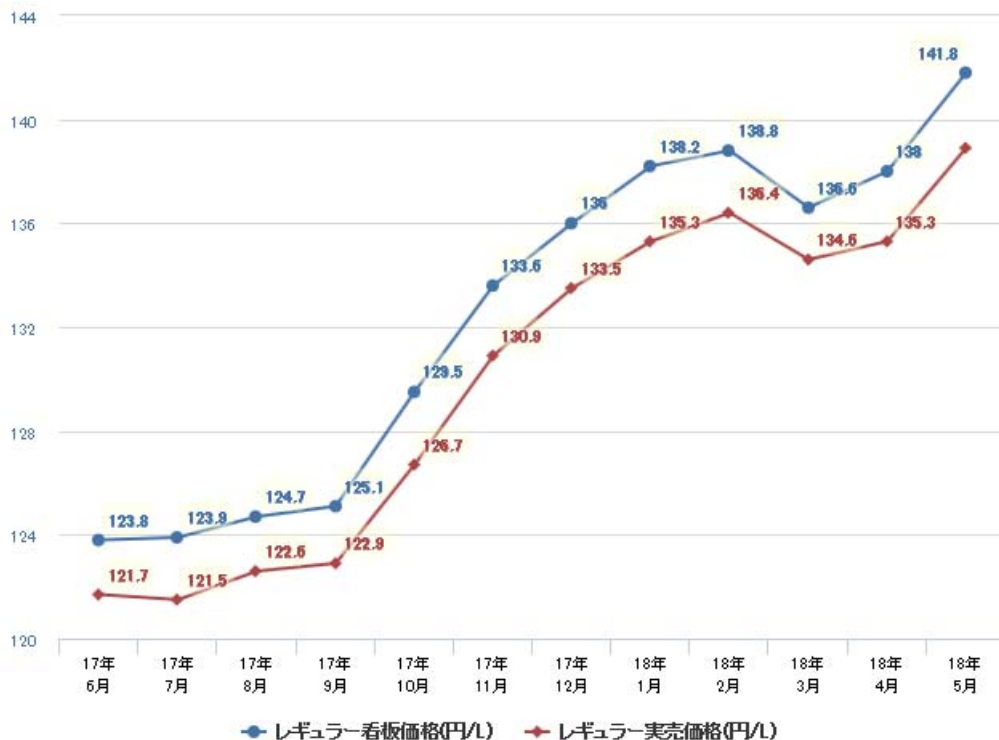
平成30年6月期については、第1、第2四半期において天候の良し悪しの振幅が非常に大きい中でも最繁忙期の12月が好調だったことから、期首に立てた業績予想に近い推移となりました。しかし、当第3四半期の1月、2月の非需要期において降雪などの影響や、年末から年初にかけてのガソリンなどの燃料油の高騰の影響によりキーパーLABO 運営事業、キーパー製品等関連事業いずれにおいても業績予想を下回りました。しかし3月、4月が好天に恵まれると高騰していたガソリンなどの燃料油の価格が落ち着き、業績の回復が可能な情勢になって、平成30年6月期の通期業績予想を無事に達成する可能性が出てきました。

しかし、米トランプ政権による中東での施策が原油の高騰を呼び、再びガソリンなどの燃料油の店頭価格

が上がり始めました。一般のドライバーは車に対する予算が一定に決まっていることが多く、ガソリン価格の上昇は、燃料以外の車への消費意欲を急速に低下させる効果があるのか、5月の連休以後の洗車・コーティングの消費にブレーキがかかっています。

このような不安定な情勢は、少なからず消費者の行動にマイナスの影響を与えるものと考え、平成30年6月期の通期業績予想を修正することに至りました。

平成29年6月～平成30年5月までのレギュラーガソリン価格推移表



(出所) 株式会社イード「e 燃費」より

2. 配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	—	—	—	10.00	10.00
今回修正予想	—	—	—	8.00	8.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成29年6月期)	—	0.00	—	19.00	19.00

(注) 当社は、平成29年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成29年6月期については、当該株式分割前の実際の配当の額を記載しております。

修正の理由

当社の利益配分に関する基本方針は、企業体質の強化と将来の事業展開のために内部留保の充実を図るとともに、業績に応じた配当を継続して行うこととしております。この方針のもと、株主への利益還元重視の姿勢を明確にすべく、配当性向20%を目標としております。

※上記記載の業績予想の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであって、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上